

救難捜索機U-125A (空幕)



U-125Aは、救難捜索機MU-2の後継機と位置づけられています。MU-2に比べ、性能、能力ともに一段と向上しました。捜索レーダー、赤外線暗視装置の装備による捜索能力の向上、さらに援助物資投下機構を装備したことによって、遭難者に対する延命も含めた援助能力が向上したことが特徴です。近年は、作戦機の行動範囲が広がっており、それに対応した救難能力の強化を図ることができます。初号機は平成7年、航空自衛隊に納入されました。

	乗員	4人
	全幅	15.66m
	全長	15.60m
	全高	5.36m
	自重	18,000lbs
	最大離陸重量	26,866lbs
エンジン	搭載数	2基
	名称	TFE731-5R-1H
	推力	1,950kg/基
	型式	ターボファン・エンジン

輸入	: 兼松株式会社
価格	: 1機 46億円 (平成19年度受注)